

## 初回ルート分岐点 ～密着囁き手淫～

では、検査着を脱いで貰えますか？

パンツは最初から着用していませんよね？

はあ…

アルバイトをしに来たのでは？

脱がないのなら、帰っても構わない…

…では、始めましょう。

まずは、私の手淫…手コキからです。

人によっては自分でする方が気持ちいいみたいですが、一番最初のランク付けにはうってつけかと。

脚もベッドにあげて、座ってください。

さすがにまだ完全に勃起…はしていないですね。

でも、少し硬くなっている。

さすがマゾですね♪

雌に裸を見られただけで、軽く勃起が始まる。

とてもいい嗜好です。

ですが…

このままでは扱きにくいので、ローションで滑りやすくしましょう。

その方が、快感も高まりますし。

知っていますか？

雄の勃起の仕組みは、性的興奮により、  
ペニスに血液が集中するからなんです。

脳から送られる興奮信号により、血液量を制限している筋肉が緩む。  
そこへ大量の血液がペニスへ送られる事で起こる…

ほら、まだ少し扱っただけなのに、  
もうビクビクしました。

硬さも増して、膨らんできましたね。

根本から亀頭に向かってゆっくり…

しこ、しこ、しこ、しこ…

自分でするより柔らかい手の感触、じっくり味わえる様に…

しこ、しこ、しこ、しこ…

やっぱり、亀頭が気持ちいいんですね。  
この段差のところ…引っ掛かりを通る度に腰が跳ねてる。

ここ、重点的に責めてみましょうか。

ふいふ。  
期待ですか？

亀頭責めが分かった途端、カウパーが玉になって溢れてきましたよ？

指先で先端を摘まむみたいにながら…

ん…  
ふう…

はあ…

ん…

出っ張りを指先が往復する度に、  
気持ちよさそうな吐息が零れてる。

そんな状態で大丈夫ですか？  
まだまだ序盤ですよ？

ん…

んん…

ふう…

ふう…

はあ…

声まで零れてきましたね。  
あっ♡あっ♡って、情けない声出ちゃってますよ？

こうやって時々、逆手でも亀頭を揉むみたいに扱いて…

くちゅくちゅ厭らしい音。

腰をへこへこさせて、雌とのセックスでも想像しているんでしょうか。

ああ…ちなみに、ドライオーガズムも禁止です。  
亀頭責めだと、射精しなくてもあり得ると思うので、  
先にお伝えしておきますね？

ふいふ。

いい顔です。

もっともっと興奮を高めて、射精我慢の限界までいきましょう？  
君の精子ランクはどこまで上がれるのか楽しみです。

さあ、それじゃあ…

速度、上げていきますよ。

君が精子をお漏らしすればする程、  
どんどん滑りやすくなって気持ちよくなりますね。

ちなみに…  
最高ランクまで到達した検体には  
セックスが待ってますよ。

勿論、君が主導ではなく私が主導ですが。

…分かりやすい。  
まだ膨らむんですね。

こんなにガチガチにしていたら、  
手コキですら、我慢できなくなるんじゃないですか？

雁に指が引っかかるの、好きなんですね。

私も、つるつるとした亀頭の感覚って好きですよ。  
ここを責められて悶えている雄は…なかなか滑稽なので。

ああ、すみません。  
本音が。  
君の反応がいいので、つい。

それより…耳元から離れたあと、  
あからさまに寂しそうな顔をしていましたね。

こうやって囁かれながら扱かれたって、顔に書いてありますよ。

ん…

ん…

ふう…

ん…

はあ…

あ、んん…

耳元で話すと、吐息が触れたり、唇がたまに当たったりして  
ゾクゾクするんでしょう？

ふっ…

そのまま上ってくる精子、  
我慢せずに吐き出してもいいんですよ？

はあ…

ふう…んん

ほら…

亀頭ばかり責められて、そろそろ出そうなんですよ？

扱く速さ…変えましょうか。

少し強めに握って、亀頭だけしこしこ…っ

んっ…

気持ちよすぎて、腰が浮いてる。

はあ…っ

んん…

我慢出来ませんか？

私は構いませんよ。

あなたがここで検体としての役割を終えても。

報酬は変わりませんし、ただただ気持ちよくなって帰るのもひとつの手です。

ほら…

出して。

我慢出来ずに、精子ぴゅーぴゅーって吐き出すところ、見せて。

んっ…

はあっ…

出して。

出して。

出して。

はあ…ツ

ん…ツ

はあ…はあ…

ん…

よく我慢できましたね。

あっさりイくかと思いましたが。

でも、まだ手は止めません。

一度追い込んだだけで、終わる訳がないですよ？

もっと我慢して…

最高の射精…味わいたいですよ？

だったら…

もっと奥歯噛み締めて我慢しないと。

ん…

ふう…

ん…っ

はあ…

亀頭だけこんなに揉まれて扱かれて、  
頭の中は射精したいって事で一杯なんじゃないですか？

それなのに我慢し続ける君は…  
検体として、とても素晴らしいと思います。

ああ…

でも、またカウパーの量が増えてる。

もうローションはとっくに乾いているのに、  
君のカウパーでちんぽがぐちゅぐちゅです。

ちゅこ、ちゅこ、ちゅこ、ちゅこ…

こんな音を立てて、恥ずかしいですね？  
まるで女の子の様ですよ。

亀頭はしこしこしたまま…  
片方の手で先端を手の平で優しく…

すーり、すーり…

すーりすーり…

ふいふい。

そんな呻き声みたいな声、あげなくても。

すーりすーりすーり…

ちゅこちゅこちゅこちゅこ…

んっ…

はあ…っ

ふう…んん…

このまま、両手で責めながら  
最後の追い込み…いきますよ♡

ん…ツ  
はぁ…ツ

びくびく下半身が跳ねて、ちんぽの充血も凄いですよ…っ  
そのまま頭の中真っ白にしていましましょう？

ん…ツ  
んん…ツ

ガチガチマゾちんぽ、我慢の限界ですよ？  
今にもお漏らし射精しそうなんですよ？

はぁ…ツ  
欲望に勝つか負けるか、最初の分岐点ですよ♡

ほら、イケ♡  
イケ、イケ、イケっ♡